

水産無償資金協力（アンティグア・バーブーダ）

水産関連機材整備計画供与式の開催

2016年11月8日

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

経済・開発協力班

8日、無償資金協力「水産関連機材整備計画」により整備された資機材の供与式典が、アンティグア・バーブーダにて開催されました。これは、マーケットワーフ、ポイントワーフ、パーハム及びアーリングに所在する過去に日本の無償資金協力によって整備された水産施設の機能向上を図るため、新たな冷凍機器等の資機材を供与するとともに、中層浮魚礁、監視レーダーシステムの新規設置及び多目的船の導入により、同国の漁業を支援し、経済開発を支援することを目的として、5億8千4百万円の無償資金が供与されたものです。

同式典には、先方からは、ニブス農業・国土・漁業・バーブーダ問題担当大臣、アプルトン水産局長、我が方から佐藤公使参事官、池 JICA セントルシア事務所長ほか、先方政府関係者など約30人が出席しました。

挨拶の中で佐藤公使参事官は、日本は無償資金協力に加えて水産分野の技術協力やトレーニングを組み合わせて同国の持続的漁業を支援しており、同国の水産部門の発展に寄与することを期待している旨述べました。

ニブス大臣は、水産分野で日本がアンティグア・バーブーダに対して継続的に開発協力を実施していることに対して感謝を述べ、今回供与された水産機材を十二分に活用するよう漁民に訴えたい。そして、両国の関係が今後とも水産分野において協力を行っていけるよう期待する旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を強めるため、様々な分野でアンティグア・バーブーダに対する開発支援を実施していく考えです。

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222

E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp